

<2019年度 ハローオリンピズム事業>  
**オリンピック教室**

**実施報告書**

**大分県 中津市立城北中学校**





## 「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



# 実 施 内 容

■期 日 : 2019年11月11日 (月)

■ク ラ ス : 2年3組 (33名)

■オリンピアン : 鹿島 瞳 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/アトランタ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

## 1. 自己紹介~授業の目的確認



・自己紹介の後、オリンピックバリュー(エクセレンス=卓越、全力で頑張る、フレンドシップ=友情、仲良く、協力し合う、リスペクト=敬意、尊重、ルールを守る)を意識して取り組んでほしいと伝え、準備体操に移る。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



・8の字跳びとクラス全員跳びを実施。



## 4. まとめ



・授業の冒頭で話した「エクセレンス(全力で頑張る)・フレンドシップ(協力し合う)・リスペクト(ルールを守る)」について守れていたか1つずつ確認し、クラス全員で拍手を送り、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・近代オリンピックの起源やクーベルタン、オリンピックシンボルについて、また経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、全力で取り組む、諦めない」、「フレンドシップ＝友情、仲間」、「リスペクト＝敬意／尊重、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：合唱コンクールで優秀賞を取るために何ができるか、意識したいことや取り組みたいことをオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：各班の代表者1名が発表。（抜粋、順不同）

- 「全力で練習に取り組む」「最後まで諦めない」(エクセレンス)
- 「団結する」「互いに修正するところ等を話し合う」(フレンドシップ)
- 「仲間を信じ合う」「お互いを尊重し合う」(リスペクト)

4. まとめ



・オリンピックバリューはオリンピック選手に限らず、皆の日常生活の中にも見出せる。  
 ・皆もさまざまな場面で友達から意見やアドバイスをもらう機会があると思う。意見をくれたことに感謝し、夢や目標の実現に向けて全力で取り組んでほしいと伝え、授業終了。



# 実 施 内 容

■期 日 : 2019年11月11日 (月)

■ク ラ ス : 2年1組 (34名)、2年2組 (34名)

■オリンピアン : 岡里 明美 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック/アトランタ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



・オリンピックバリューについて、「エクセレンス」=すばらしい行動、頑張る、諦めない、「フレンドシップ」=仲間、協力、「リスペクト」=敬意、尊敬、フェアプレーと説明。運動の時間の3つの約束事として、「間違ったり失敗することを恐れずに元気に明るく一生懸命積極的に取り組むこと」「班で協力し、ルールを守ってチャレンジすること」「先生が話している時や説明をしている時はボールを床につかないこと」と伝え、準備運動に移る。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



・パス回し競争とシュート競争を実施。



## 4. まとめ



・授業冒頭に伝えた3つの約束を守って一生懸命チャレンジしてくれたことに全員で拍手した。次の座学の時間では、オリンピックに出場するまでの経験を伝えるとともに、運動の中で「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」がどう関係していたのか、日常生活とどう絡んでいくのかを考えていきたいと説明し、授業終了。





■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・映像を見せながら自己紹介した後、オリンピックのイメージやクーベルタン、オリンピックシンボルについて、また経験を通じて感じたオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問①：運動の時間を振り返り、オリンピックバリューに当てはまる行動や取り組み、話し合ったこと等を書き出してみよう。  
 発問②：日常生活の中でオリンピックバリューに当てはまることを考えてみよう(取り組みたいことや頑張りたいこと、部活動や勉強、学校行事等)。  
 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。(抜粋、順不同)  
 「ミスしても諦めない」「部活を頑張る」「部活をさぼらずに取り組んだ」「練習を毎日行う」(エクセレンス)  
 「応援する」「仲間と協力」「仲間と協力して合唱コンクールを大成功させたい」「修学旅行で団結して動くこと」(フレンドシップ)  
 「支え合いルールを守る」「クラスで尊重し合う」「部活を応援してくれる人に感謝する」「部活の試合でフェアプレーができた」(リスペクト)

4. まとめ



・大切にしてほしい3つのオリンピックバリューのうち、リスペクトについて、人に対するリスペクトだけでなく、自分に対してのリスペクトも忘れないでほしい。これからさまざまなことに挑戦すると思うが、初めから成功する人はなかなかいない。失敗しても間違えても、どんなことにも挑戦できる可能性を持っている自分自身をリスペクトし、自分を信じて、勇気を持って色々なことに挑戦してほしい。東京2020大会では試合を観戦したり、ボランティアとして活動したりする等、さまざまな形でオリンピックに関わり、楽しみ、自分自身の成長につなげてほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真  
2年1組



2年2組





■ 集合写真  
2年3組



■ 記念品贈呈  
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

